

# おれんじ通信

52

知って支える認知症



## 若年性認知症本人交流会 楽Café

認知症とは脳の病気や障害などさまざまな原因により、認知機能が低下し日常生活全般に支障がでてくる状態です。国の推計によると、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。高齢者に多い病気ですが、年齢が若くても発症することもあり、65歳未満に発症する認知症を若年性認知症といいます。

現役世代では仕事や家事、育児、親の介護を担っている方が多いため、生活に与える影響が大きくなります。しかし、社会の理解や支援は充分とはいえない状況にあるため、市では、若年性認知症の方

やその家族同士が思いを共有できる交流の場として「楽Café」を開催しています。

参加した方からは「話をして思いを共有できたことで、安心できた」という声が聞かれました。本人または家族のみの参加もできます。

楽Caféへの参加について、詳しくは地域包括ケア推進課へお問合せください。

**時**第1土曜日13時30分～14時45分 ※新型コロナウイルスの影響で中止になる場合があります。



おれんじ通信への意見をお寄せください。

**申問**地域包括ケア推進課 06  
(4309)3013、FAX06(4309)3814